部等名	課等名	係等名
建設部	道路建設課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	80	01	01	11	道路整備事務に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 収	総事業費	908千円	2,335千円	2,529千円	0千円
る経費全体	総人件費	11,410千円	11,254千円	11,254千円	
全体	総事業コスト	12,318千円	13,589千円	13,783千円	

事级目	事 坐 夕	04 2	—————————————————————————————————————	指標名	3 要望活動回数 3 要望活動回数					指標種別	活動結果指	漂						
争伤	尹耒石		^治		H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	[標の概要	-			
戦略:	プラン	- -		目標値	-	-	-		-	-	-	-						
		- -		実績	8回	9回	10回											
総合	戦略	- -				H28年度			I	H2	9年度	_	そ(の他の指標	-			
		- -		改						路として必要であ て,早期事業化に		いない各路線						
佃叫	計画			標				目標		、十期争亲心的	- 玖り組ひ。		Inilii	事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
凹力り													事	■業費(A)	908千円	2,335千円	2,529千円	0千円
根拗注	去令等			事幹	線道路として必要で , 改良整備を促進す	である国・県道の まるため、冬路線)バイパス建設及	事	 幹線道: 7% 次度	路として必要であ ************************************	5る国·県道のバ なため、各敗線に	イパス建設及	[国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
1121227	4 4 4			計 進	,以及金桶を促進、 期成同盟会への参 業化,財源確保の)	:加を継続させ,[国・県等への早期	業 び,改良整備を促進するため,各路線における整備促計計 進期成同盟会への参加を継続させ,国・県等への早期画 事業化,財源確保のための要望活動を行う。						県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業	分類	G 建i	设等事業		51(10 / 7.3 3.112 pt - 2.	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	. = 13 20			, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	2 ** 2 \ _ * (2 3 0		内 訳 _	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行	体制	職員の) }											その他特別	0千円	0千円	0千円	0千円
車								上半						一般財源	908千円	2,335千円	2,529千円	0千円
業しの	事 業 ・国 , 県道のバイパス建設及び改良整備の促進	活りかけ	O〈ば市が加盟している整備促進期成同盟会17団体の 全事会·総会へ出席し,国·県に対して要望書の提出を 「るなど要望活動を行った。			井期 活	_				人	(件費(B)	11,410千円	11,254千円	11,254千円			
の目的	を図るカ	こめ。		実績	るなど要望活動を行	うった。	CZEGORUC	動実績					1 日		1.50人	1.50人	1.50人	
													内影	時間外 勤務	100.00時間	100.00時間	100.00時間	
														臨時職員等	有	有	無	
事		`*	°✓	成 号	整備促進期成同盟 牛久土浦バイパス	や主要地方道野	田牛久線等で一	上半期	L					事業コスト (A + B)	12,318千円	13,589千円	13,783千円	
U	るため、	各路約	ヾイパス建設及び改良整備を促進す 線における関係市町との整備促進 ∶加入し,国及び県等への要望活動	果部	事業化されるなど, る。	要望路線の整備	着促進が図られて	成果					Н					
概要	が成門。に参加。	曲女に	.加八0,国及05宋寺八00安宝冶勤										30年					
				課都	市計画道路の未事	業路線の早期事	事業化に向けた関	課					年度当初	-				
		天	 		市町への取り組み		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	題	-				積算					
	H28 環境 関連		域に努め,天然資源の枯渇防止に	事業	€ の	│ 改善目標 <i>0</i>	D		 事業の		改善目標の	1	根拠					
ISO		献する	,	進捗	状況 建成	進捗状況成果が得られて	-		基捗状況 有効性	- ± -	進捗状況							
14001	H29 環境 //r	•	然資源の枯渇防止 **	 評 _カ	功率性 中:適切な			評	効率性				H3	0年度	- 理由 -			
	環境 紙の削減に努め,天然資源の枯渇防止に 性 貢献する。				:合評価 B:成果·費			一個	総合評				のブ	方向性	75.14			

部等名	課等名	係等名
建設部	道路建設課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	80	04	02	11	街路整備に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4ヌ	総事業費	15,000千円	8,110千円	352,616千円	0千円
る経費全体	総人件費	11,944千円	11,784千円	11,784千円	
全体	総事業コスト	26,944千円	19,894千円	364,400千円	

事務事業名	01 明るいまちづくり協議会事業	指標	名 明るいまちづく!	り協議会開催				指標種	別	舌動結果指	三						
737×1			H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度		H31年度	H32年度	ŧ	指標の概要	-			
戦略プラン	5 2 犯罪に強いまちづくりの推進	目標的	値 -	4回	4回	4	. 📵	4 💷		4回	4回						
	2 2 犯罪に強いまちづくりの推進	実績	-	3 🗇	3 🗖												
総合戦略				H28年度			T		H29年	甘 文		そ	の他の指標	-			
		改 善 手 目				改善	ス 有効幅員確保及び照度確保のほか,既存の 取扱い等を含めた街路灯の設置方針を作成			存の街路樹の 作成し,街路灯							
個別計画		標				目標	整備を過	生める 。					事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
间加引制图	-		協議会開催				協議会		6日間(崔予定		1	事業費(A)	15,000千円	8,110千円	352,616千円	0千円
根拠法令等	道路法	▮事 ⊡	第1回 6月開催3 第2回 9月開催3 第3回 12月開催3	予定		事業	·第 2回·第 3回	回協議会 回協議会 1	9月開(2月開(崔予定 崔予定			国庫支出金	0千円	0千円	86,150千円	0千円
IKIKIZ Y IJ	Σ υ Η/ Δ	計	第4回 3月開催 ³	定		計画	·第 4回 	回協議会	3月開	崔予定			県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	A 任意的事業		5路整備測量設計業 5路整備工事 2件	・務委託 1件			29年度	備工事 5件(うち2件は28年度繰越し) 事業3件については,社会資本整備総合交付金 て,まちづくリ交付金を活用し整備			内 訳	地方債	0千円	4,400千円	216,900千円	0千円	
執行体制	体制 職員のみ					学来とい		/XIJ II	で旧用り走	I'ffi		その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
車	事		協議会開催 6月30日 第4回明るいまちづくり協議会開催										一般財源	15,000千円	3,710千円	49,566千円	0千円
業研究学	園中心地区の街路灯未整備地区の街路	┃活	2月7日 第5回明	月7日 第5回明るいまちづくり協議会開催 113日 第6回明るいまちづくり協議会開催								,	人件費(B)	11,944千円	11,784千円	11,784千円	
┃ の 灯の整 ┃ 目 保する ┃ 的	備を図ることにより,歩行者等の安全を確	実績積	 5路整備測量設計業	美務委託及び街路	8整備工事につい	上半期活動宝	-						従事 正 割合	1.50人	1.50人	1.50人	
по			ては , 住民等の要望 らのとし , 翌年度へ約		計を再度検討する	実績							職 員 時間外 勤務	300.00時間	300.00時間	300.00時間	
,往报	灯設置基本計画策定			・胆士フマンケー									臨時職員等	有	有	有	
	通行困難箇所の街路灯設置基本計画を策	///	安全なまちづくりに 詰果を , 協議会の活			上半							事業コスト (A+B)	26,944千円	19,894千円	364,400千円	
■ # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	灯設置の仕組み作り の役割を明確にし,分担を定め,事業を実	果	。 市民から街灯の設 とにより,協議会会 :を確認した。				-					H 30				<u> </u>	
管理を	・ 街路灯の設置 , 管理 街路灯設置基本計画に基づき , 街路灯を設置 管理を行う。 課 国・県道への街路灯設置に向けての協議 , 施策の検 設 討。		劦議 , 施策の検	課題	-					年度当初積算根	5 自] -						
環境 関連 <u></u> 性			業の 達成	改善目標の 進捗状況	-		 事業の <u> </u> 	-		(善目標の 進捗状況	-	拠	<u>L</u>				
14001	- -	÷17.	有効性 中:適切な	は果が得られて	113	Acre	有効性	<u> </u>				,,,	00/T E				
H29 環境 関連 _		評	効率性 中∶適切な	で費用対効果が得	身られている	単価	効率性	<u> </u>				H30年度 の方向性		理由 -			
性		幺	総合評価 B∶成果·費	用対効果の向上に	に努めつつ継続実施		総合評価 -										

部等名	課等名	係等名
建設部	道路建設課	道路用地係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	80	01	01	13	登記事務に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 収	総事業費	9,836千円	9,960千円	12,390千円	0千円
、る経費全体	総人件費	23,620千円	31,292千円	31,292千円	
全体	総事業コスト	33,456千円	41,252千円	43,682千円	

				16.12						 	V = 1 (+ m 1 × 1							
事務事	業名	01 登記	記事務事業	指標			1 1120年度 1	1100	0年度	指標種別	活動結果指		+	ᄕᄪᄼᄢᄑ	 道路の拡幅	事業においての	の分筆及び所	有権移転登
戦略に	プラン			目標	H26年度 禁値 -	H27年度 -	H28年度 -	ПΖ	9年度 -	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -] 11	旨標の概要	記			
				実終	續 399件	715件	716件											
総合	戦略				-	H28年度	<u> </u>			H2	9年度] ج	の他の指標	!			
	_			改善	12月までに,地区要	望による道路用均	地買収を全て完了	改善	年内中I る。補助	こは,地区要望に]路線の買収に関	:伴う用地買収を 引しては,10月末を	すべて完了させ を目標に現年度						
/FI DII:	±1. 	1		目標	させる。			目標	ヨ 分の買収を完了させる。 					事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
個別	計画	-										Ę	事業費(A)	9,836千円	9,960千円	12,390千円	0千円	
加油	L《笙·	不動杂	登記法	事;	道路計画予定地のコ 所有権移転など)を行	上地売買契約及で = 3	び登記(土地分筆・	事	道路計画	画予定地の土地 多転など)を行う	売買契約及び登	記(土地分筆·		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
化区)处/2	∡ 7 7 7	小乳性	· 电记法	計 8	州有権移転なと)を1 また,支障物件が有 道路整備工事に影響	る場合には物件	補償契約を行い,	計画	未登記が	多転なこ)を11つ 処理の登記(土地	。 地分筆·所有権移	9転など)を行		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業	分類	G 建i	设等事業 			3 H.OV (O.) [C.							内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行	体制	職員の) }						-				$\ \ $	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
車	・取得した道路用地を登記手続申請をして、つく ば市の所有権を明確にし、行政財産としての管理												一般財源	9,836千円	9,960千円	12,390千円	0千円	
			活 道路	道路計画予定と未登記の土地買収契約及び登記(土地)			上半期活	_					人件費(B)	23,620千円	31,292千円	31,292千円		
自的	を適正し	こする	ため。	実績	分筆・所有権移転)など行いました。				動					近 正 割合	3.00人	. 4.00人	4.00人	
								績					訳	間 時間外 勤務	500.00時間	750.00時間	750.00時間	
								╂						臨時職員等	有	有	有	
事					道路整備工事の実施		出ないよう,土地売	半 期	L				-	事業コスト (A+B)	33,456千円	41,252千円	43,682千円	
のり	界確認:	書·現	用地の調査を行い、地積測量図・境 地調査報告書・相続書類等を整理し	果山	買契約及び登記を行	fいました。 -		成果					Н					
概要	て法務り	司に登	記を申請する。										4年度	፤				
				課場	買収予定地が相続st 約締結も遅れてしま	登記が未完了の均	場合,土地売買契	課					度当初	† - -				
		- -	<u> </u>	題	部には近れてしまる 確保する必要がある	フ病 , 宗俗をもつ 。	(スクシュールの	題	-				積算	<u>[</u>				
	H28 環境 関連 _	ı	,		事業の 達成) 改善目標 <i>0</i>	D 達成		 事業の		改善目標の		根	Į				
ISO	性	r		進	<u> </u>	<u>進捗状況</u> は成果が得られて	, 连观	ĭ	生捗状況 有効性	- = -	進捗状況	_						
	H29 環境	· -		評価	効率性 中:適切な			評価 効					H3	30年度 方向性	· 理由 -			
	関連 - 性			" ·	総合評価 B:成果・費				総合評				(0)	刀凹性				

部等名	課等名	係等名
建設部	道路建設課	工務係

会	計	款	項	目	事業	予算事業名
0	1	80	02	02	11	道路新設改良に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る *ヌ	総事業費	1,359,889千円	1,475,656千円	2,030,754千円	0千円
る経費全体	総人件費	17,154千円	16,772千円	16,772千円	
全体	総事業コスト	1,377,043千円	1,492,428千円	2,047,526千円	

車殺車	* 学夕	71 详	路新設改良事業	指标	標名市	道の改良整備	 青 率				指標種別	別 成	果指標							
7177	未口		中型以及这 手来			H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	Н	31年度	H32年度	指標	票の概要	市道の整備	目標率		
戦略ブ	プラン	- -		目標	標値	51.56%	54.73%	55.61%	55	65%	55.69%	5	5.73%	55.77%						
		- -		実	[績	54.69%	55.53%	55.90%												
総合戦	线略	- -			I		H28年度				ŀ	129年度			その	他の指標	-			
	-			善善	に整備	することを基本	として実施する	と性を判断し優先的 。 なな度の定式を見	善善	に整備す	することを基本	として実	『施する。							
個別言	:+==			目標	測重設 指す。 	(計美務・上事・	六午期 発注をし	て年度内完了を目	目標	測重設 指す。 	訂美務'丄爭ナ	卡用先	注をして年	度内完了を目		業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
四万少百															事	業費 (A)	1,359,889千円	1,475,656千円	2,030,754千円	0千円
根拠法	个学 :	古叹计	_	事業	┃ ┃ ┃·道路∂	收良工事 7.3 7.3	3路線 L=11,979	9m	事	│ ·道路改	(良工事 38)	各線 L=	=6,153m		国	庫支出金	5,000千円	21,643千円	113,600千円	0千円
化对处/公	(र ज	旦路亿		計画	│ │·測量記	设計業務 2.8	3路線 L=7,911r	m	計画	 ·測量設	計業務 21	各線 L=	=3,775m		Į.	是支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分	分類	3 建語	设等事業												内 訳	地方債	1,185,000千円	1,218,500千円	1,695,000千円	0千円
執行体	本制	職員の	み												そ	の他特財	9,149千円	0千円	9,149千円	0千円
車					 【繰越分 		S線 L=4,502m		上半						_	一般財源	160,740千円	235,513千円	213,005千円	0千円
業に	市内の	の未整備道路を改良し,道路としての機能を 直路網の整備を図ることにより市域の土地		活動	·測量記 現年月	设計業務 8路	線 L=5,400m		₩期活	_					人作	件費(B)	17,154千円	16,772千円	16,772千円	
の目的に利力	リ用、終 喜する <i>†</i>	Ě済店 こめ。	動を活性化し、地域社会の環境を改	実 1	·道路改良工事 41路線 L=7,008m ·測量設計業務 20路線 L=6,025m										正 職	従事 割合	2.00	2.00人	2.00人	/_
															別員	時間外 勤務	860.00時間	800.00時間	800.00時間	
									+-							時職員等	#	無	無	
事				成	計画的	に道路の改良	整備を実施する	うことにより,安全で	半期	_						業コスト \ + B)	1,377,043千円	1,492,428千円	2,047,526千円	/
業の概	也元要! 平価し.	望を踏 幹線i	まえ,一定の基準の下に必要性を 道路,生活道路の整備を行う。	果	円滑な 	交通を確保する	ることができた。		成成果						Н					
機。	ПДО	+11100													30 年 度					
				課	うに,生	上活道路網の雪	怪備を進めており	ฏな生活を送れるよ Ĵますが,地区要望	訓課						年度当初	-				
		大	気汚染の防止 達成					隆に期間を要す。今 精築が必要である。	題						積算					
玛			重機の使用により,排気ガス削減を		 事業の	達成	改善目標の			事業の	-		善目標の	-	根拠					
ISO 14001	性図	リ,ズ . I.	気汚染の防止に貢献する。 	進	<u>*</u> 接	,	<u>進捗状況</u> 成果が得られて		1	<u> </u>	<u> </u>	進	** 							
	H29 景境 日本	<u>」</u> 公害軍	上機の使用により、排気ガス削減を	評価	効率	性 中:適切な	費用対効果が得	导られている	評価	効率性	E -				H30年 の方I	丰度 句性	· 埋由 -			
	環境 低公害重機の使用により。排気ガス削減を 性 図り、大気汚染の防止に貢献する。				総合評	☑価 B∶成果·費	用対効果の向上に	こ努めつつ継続実施	┨ ┈	総合評	価 -				10/3	312				

部等名	課等名	係等名
建設部	道路建設課	工務係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	80	02	03	11	緊急地方道整備に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 収	総事業費	640,861千円	243,118千円	386,082千円	0千円
る経費全体	総人件費	17,260千円	17,037千円	17,037千円	
全体	総事業コスト	658,121千円	260,155千円	403,119千円	

重殺重	[業夕	01 竪쇸	当协方	道整備事業	指	標名	市道の改良整体	備率				指標種別	り 成	 法果指標							
777	* 4	U 1 501	ررتاحم	是走開予未	<u> </u>		H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	Н	131年度	H32年度	指	標の概要	市道の整備	目標率		
戦略ブ	プラン	6	1 交	通移動体系の整備	目標	標値	51.56%	54.73%	55.61%	55.	65%	55.69%	5	55.73%	55.77%						
		- -	- -		実	[績	54.69%	55.53%	55.90												
総合戦	戝略	- -	- -					H28年度					29年度			その	の他の指標	-			
	_	- -			善	継続事	『業を着実に進	めるとともに,都	盤の充実のため、 『市構造の変化や	善	継続事業	舌と経済活動を 業を着実に進め	りるとと	きに,都市村	構造の変化や						
個別言	1 m						K次の変化に過 道路網の整備を		ドを見据えた都市	目標	在会状》 計画道:	兄の変化に適原 路網の整備を行	ひり <i>る1</i> 丁う。	にめ,特米を.	見描えた郁巾	Į	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
凹力订百		-				.6-31	06号線道路改	良舗装工事 L=	= 130m				A # N + -			事	禁費(A)	640,861千円	243,118千円	386,082千円	0千円
根拗法	- 今笙	都市計	画法,	補助金等に係る予算の執行 関する法律	事	·葛城·酒丸	北線道路改良	舗装工事 L=2 良舗装工事 L= ²	200m 1,200m	事業	│·酒丸上	3号線道路改良 :沢線道路改良 ī丸線道路改良	舗装工	[事 L=200	m	[国庫支出金	179,135千円	71,074千円	95,920千円	0千円
112122/2	, , , ,	の適正	化に関	関する法律 	計画	│·市道	1-71号線道路	良舗装工事 L=1 改良舗装工事 I	L=180m	計画	·市道1-	·71号線道路改 ·21号線道路改 『丸線用地測量	良舗装	長工事 L=20	00m		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分	業分類 G 建設等事業 〒体制 職員のみ					·台町 	宣儿級但路註為	細設計業務委託	; L=800m				- > < > > >			内訳	地方債	140,900千円	70,600千円	95,000千円	0千円
																<u> </u>	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
カ	が容易	となり、	つくばご	, テクノハ ーク大槵へのアクセス ニュータウン(葛城地区)の定 ともに,地区全体の健全な発		道路	萱丸線 詳細設計業務	L=1,300m		上半							一般財源	320,826千円	101,444千円	195,162千円	0千円
業原	長と地は	或住民	の利便	こもに,地区主体の健主な光 『性の向上のため。 住促進が図られるとともに,地	活動	道路	葛城北線 道路改良舗装工事L=117.5m 流丸 上沿線第1期区間			単期	_					ل ب	、件費(B)	17,260千円	17,037千円	17,037千円	
自 区 の	区全体 Dため。	の健全	な発展	民と地域住民の利便性の向上	┪	·酒丸上沢線第1期区間 道路改良事業実施 L=93m ·酒丸上沢線·葛城北線難航地 権者用地交渉(随時)										1 日曜		2.00	2.00人	2.00人	
		E民の 環境の		活の利便性の向上及び快適)ため。	_											訳	時間外勤務	900.00時間	900.00時間	900.00時間	
				召崎 ·延長幅員		± 5σ		全で円滑かな通	の確保や防災機能	上							臨時職員等	#	# #	無	
事	総事業	€費700	0,000 .	N=6/16m(2車線・両歩3.5m) - 円 · 東平塚 · 延長幅員	成	lo向 l	トとともに、重点	的 効果的かつ	効率的な事業の	半	_						事業コスト (A + B) ■	658,121千円	260,155千円	403,119千円	
果 の L:	=380n	土土	区間36	ステダー 延迟幅員 60m,橋梁区間20m) 歩4.5m)	果	定 , 難 来を見	航地権者の用 見据えた整備を	地交渉 , 工事発 行うことができた	地測量,補償費算 注などを実施し将 。	成果						H 30					
要	総事業 事業健	養935 所谷□	5,000千 田部地	·円 内 ·延長幅員												年 度					
		(L=2,3 美費 6	,	6/16m,(2車線・両歩3.5m) 千円				いる路線につい	ては,工事発注が	課	_					 初	-				
		大領	贰汚染	の防止 達成	題	遅れた	Ξ.			題						積算報					
現				使用により,排気ガス削減を の防止に貢献する。		 事業の 歩状況		改善目標 <i>0</i> 進捗状況			 事業の 	-		善目標の 基捗状況	-	根拠					
ISO 14001	性				世	有効		進抄状況 に成果が得られて	•	Į L	有効性	E -		≒1少1八ルレ							
H 現	大気汚染の防止 大気汚染の防止			評価	効率性 中:適切な費用対効果が得られている 評 価			効率性	効率性 -				0年度 5向性	理由 -							
I¥	関連になる主機の反角により、非気が入門がを関連し、大気汚染の防止に貢献する。				総合詞	评価 B∶成果·費	用対効果の向上	に努めつつ継続実施	į	総合評	価 -										

部等名	課等名	係等名
建設部	道路建設課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	80	04	12	11	圏央道推進事業に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る *ヌ	総事業費	47千円	47千円	47千円	0千円
る経費全体	総人件費	7,509千円	7,485千円	7,485千円	
全体	総事業コスト	7,556千円	7,532千円	7,532千円	

事務事	事業名	01 圏	央道推進事業 	指相	標名 要!	望活動回数					指標種別	活動結果指	漂						
3 - 3,5 3						H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度		指標の概要	-			
戦略:	プラン			目相	漂値	1回	1回	-		-	-	-	-						
		- -		実	績	1回	1回	1回											
総合	戦略	- -	- -		ı		H28年度			Ι	H2	29年度		そ	の他の指標	-			
	-			改善	_				改善			緩和を目的とし,	完成4車線化の	,					
個別	計画			目標					目標	早期事 	業化に取り組む。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
间力」															事業費(A)	47千円	47千円	47千円	0千円
根拠污	±办笙			事業	 ·事業主	体である国に	ニ対して , H28年原	度内の開通に向け	事業	. 車 ※ ↑	- 休でまる国にさ	打して。完成4車線	自化の日知恵業		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
化区1处72	4 7 1 7			業計画	ての要望	望活動等を実			計画		ナて要望活動を		球化の干期事業		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業	分類	G 建i	设等事業											内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行	体制	職員の	み											$\ \ $	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
車									上半						一般財源	47千円	47千円	47千円	0千円
業しの	- 圏央道	の早ま	期整備を促進するため。	活動		圏央道建設促進のため , 茨城県及び関係市町による				_				,	人件費(B)	7,509千円	7,485千円	7,485千円	
の目的	四八尺	= 00 1 7		実績	圏央道第 	圏央道建設期成同盟会の総会,要望活動へ参加した。			期活動実績						正 割合 職	1.00人	1.00人	1.00人	
									績						時間外 勤務	30.00時間	60.00時間	60.00時間	
															臨時職員等	有	有	無	
事				成	 平成29年 関が斬る	年2月26日に「 〒2東線により	「境古河[C」から「 ロ関通したことに	つ〈ば中央IC」区 より,茨城県内が	上半期	L					事業コスト (A + B)	7,556千円	7,532千円	7,532千円	
業の	·事業主 市町 , ‡	を は元及	ある国土交通省に対して,県,関係 び関係地権者等と連絡・調整を図!	果	全線開道	通した。	が用題のたことに	5 7 , / / / / / / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5	成果					Н					
概要	ながら	要望活	動を実施する。							-				3(年					
				黒課	┃ ┃茨城県戍	内の全線開通	がである。 1000年 100日 100日 100日 100日 100日 100日 100日	が増加していること	訓課					年度当初	₹ -				
		· -		題	から,完	.成4車線化σ	ママスティア・アンドル・アンドル・アンドル・アンドル・アンドル・アンドル・アンドル・アンド	必要である。	題	-				積量					
	H28 環境 関連 _	-		1	 事業の	\#.#	改善目標の)		 事業の		改善目標の	1	札扱	艮				
ISO	性				<u> </u>	達成	進捗状況 成果が得られて	-		上 上 一 有効性	<u> </u>	進捗状況	_						
14001	H29 環境	<u> </u>		評価			: 微米が持ち100 : 費用対効果が得		評価	効率性					30年度	· 理由 -			
	- ^{坂児} 関連 - 性			1川				 ニ努めつつ継続実施	- ```				の方向性						

部等名	課等名	係等名					
建設部	道路建設課	工務係					

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	80	03	01	12	河川整備に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
- 1		30,000千円		135,000千円	0千円
る経費全体	総人件費	11,944千円	12,579千円	8,916千円	
全体	総事業コスト	41,944千円	65,133千円	143,916千円	

事務事業名 01 河川整備事業		指標名 河川の改修整備率					指標種別 成果指標											
				H26年度 H27年度 H28年度		H2	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	標の概要	八幡川河川の未改修区間の整備率					
戦略プ	ラン・	- -		目标	標値 - -	10%	40%	7	0%	100%	-	-						
	-			実	[績 -	10%	10%											
総合戦	略 .				1	H28年度				H2	29年度		その	の他の指標	-			
	-					未改修区間の中で,危険性·緊急性を要する箇所から 整備することを基本として実施する。		改善目		修区間の中で,危険性·緊急性を要する箇所から することを基本として実施する。								
個別計	. 			標	IE III / GCCCE			標					事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
旧八八日													事	事業費(A)	30,000千円	52,554千円	135,000千円	0千円
根拠法令	个学 语	71118±		事	·八幡川河川改修工事 L=300m			事				[国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
作()处/云·	マ ゔ ♪	J/II <i>I</i> A		業計画	・河川改修に伴う:	河川改修に伴う土地購入 (北条・山口・平沢地区)		業 計 画	・・・河川改修に伴う土地購入 ┃ (北名・山口・平沼地区)				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分	分類 G 建設等事業			ī								内訳	地方債	0千円	39,400千円	93,000千円	0千円	
執行体	制雕	銭員の	み						\vdash				-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
#		・大雨等による河川の氾濫,土砂崩れを最小 食い止めるため,適切な防災対策を行い,住 害の軽減を図る。				八板川河川水板工声 1 45~(廊字)								一般財源	30,000千円	13,154千円	42,000千円	0千円
事 業 台 の 限	風·大			活動実	. 八條川流川北條								人	、件費(B)	11,944千円	12,579千円	8,916千円	
B R R R R R R R R R	被害の			実 ^{' /} 績	·八幡川河川改修工事 L=45m(暫定)			期活動実						従事 E割合	1.50人	1.50人	1.00人	
H J								績					内訳	時間外 勤務	300.00時間	600.00時間	600.00時間	
		豪雨,台風等に際し,八幡川の洪水や安全 可上させるため,護岸等の整備を進める。	成果る					\vdash					臨時職員等	無	無	無		
車				緊急性を要する箇所を整備することにより危険を回避することができた。		世界 出					事	事業コスト (A + B)	41,944千円	65,133千円	143,916千円			
U) 1.44	中豪雨 た向 -					期 成 果	-				H 30							
概 ^性 要	(年1月1							-										
				課	台風増水による破	台風増水による破損箇所があるため , 早急に河道拡 幅・護岸整備に伴う用地買収及び物件補償を進める必 要がある。		. 課		-			年度当初	_				
		大気汚染の防止 達成		課題	幅・護岸整備に伴 要がある。 			△ 課題	-									
H28 環境 関連 性 ISO	28 境 (新	低公害重機の使用により,排気ガス削減を 図り,大気汚染の防止に貢献する。		Ī	事業の		煙の		 事業の		改善目標の	I	算根拠					
					基涉状况 基本	進捗	大況 建成	ì	<u> </u>	-	進捗状況							
14001 H		大気汚染の防止 低公害重機の使用により,排気ガス削減を 図り,大気汚染の防止に貢献する。		評	有効性 中:適t 効率性 中:適t	別な成果が得ら 		されている 評価 効率性						0年度	理由 -			
環境 関連 性	塩 低色			価								のブ	5向性 -	连田 -				
					HI IM 5 1744 N	B:成果·費用対効果の向上に努めつつ継続実施			,,,,,, HII	ТМ								